

一斉学習

児童生徒実践型

実践タイトル ICT機器を自己表現活動に生かそう

本時のねらい

英語の自己紹介を、プレゼンテーションソフトウェアで作成し、分かりやすく、聞き手の興味をひくように発表する。電子黒板のタッチパネル機能を使い、アイコンタクトやジェスチャーなどにも意識してスムーズな発表を心がける。

主に活用したICT機器・教材・コンテンツ等とそのねらい

電子黒板

作成したプレゼンテーション資料を拡大表示したり、タッチパネルを活用し、より分かりやすく、発表する。

指導者用デジタル教科書

指導者用デジタル教科書を個別に使用し、発音練習をすることで英語の基礎・基本を身に付ける。

参考にしてほしいポイント

- ・コンピュータ室で自己紹介用のプレゼンテーション資料を作成するなど、英語の自己表現活動にICT機器を利用したこと。
- ・電子黒板を教師による提示用装置としての利用だけではなく、生徒による発表に利用したこと。

学習の流れ(分)		主な学習活動と内容	ICT機器・教材、コンテンツ等
本時の展開	導入 0	○発表についての注意事項を聞く。(写真1・2) ・電子黒板のタッチ機能で注意点を提示 ・発表するときの姿勢や声の大きさなど ・発表を聞くときの態度など	・指導者用デジタル教科書
	展開 45	○英語での自己紹介プレゼンを発表する。(写真3) ・英語で各自の自己紹介をする。 ○級友の自己紹介を聞いてよいところを発見する。	・電子黒板 ・各自の自己紹介プレゼンテーション資料(事前にコンピュータ室で作成)
	まとめ 50	○発表のふりかえりをする。	



写真1: コンピュータ室にてデジタル教科書で発音練習



写真2: ALTによる英語表現のチェック



写真3: 電子黒板で自己紹介プレゼンを発表

児童生徒の反応

- ・プレゼンテーションソフトウェアで自分の自己紹介を作るのが楽しかった。また、作っているときにみんながどういった自己紹介をするのか、ものすごく楽しみにしていた。
- ・みんながはっきりと英語で発表しているのを聞いて、英語をがんばって覚えたいという気持ちが伝わった。
- ・音読テストで『完ぺき』と言われて合格した。英語は苦手だったが、デジタル教科書で何度も聞いて声に出して練習することで合格できた。

活用効果

評価の観点	コミュニケーションに対する関心・意欲・態度
具体的変容	コンピュータ室にて自分でPCを操作しながら学習活動を行うことで英語の学習への意欲が伸びた。指導者用デジタル教科書で基本となる英文を身に付け、自己表現活動で自分の興味から使える英文を次々と増やした。実践前には英語に苦手意識を持っていた生徒も、ALTの前で堂々と発表し、多くの生徒の興味を引いた。事後アンケートでは、コンピュータ室での学習活動を通して英語の学習が好きになったと記していた。

実践の手応え

多くの生徒がコンピュータ室での学習に意欲的に取り組んだ。インターネットで興味のある画像を調べていくことで新たな自己紹介文を作ったり、教師と一緒に英文のプレゼンテーション資料を作っていく段階で、プレゼンテーションソフトウェアの使い方も覚え、英語の学習に対する興味・関心が向上した。